

血液検査の見方・考え方

	検査項目	正常値	検査でわかること
血液一般	WBC	4.0~9.0 ×10 ³ /μl	白血球数 病原体の侵入から体を防御したり、免疫性を作る役割をする 抗がん剤の副作用（骨髄抑制）で低下する事がある
	Seg	3.8.0~ 5.8.0%	白血球の中の好中球（病原体に対する抵抗力）の値を計算できる
	RBC	3.8.0~ 5.0.0 ×10 ⁴ /μl	赤血球数 肺から体の隅々の細胞に酸素を送り、炭酸ガスを運び出す役割をする 抗がん剤の副作用で低下する事がある
	HGB	11.5~ 15.0 g/dl	赤血球の中の鉄と蛋白が結合した色素 酸素を運び役割をする
	PLT	1.5~3.5 ×10 ⁴ /μl	出血したときに血液を固めて出血を止める役割をする 抗がん剤の副作用で低下する事がある
肝胆膵	T-Bil	0.2~1.2 mg/dl	総ビリルビン 肝臓・胆道系の障害で上昇 黄疸の種類がわかる
	AST	1.3~3.3 U/l	肝臓・心臓・腎臓・筋肉などに分布し、これらの障害で高くなる
	ALT	6~2.7 U/l	主に肝臓に含まれている酵素で、肝細胞が破壊されると高くなる
	LDH	119~229 U/l	肝細胞障害時に上昇 血管・心筋・筋・悪性疾患でも高くなる
	γ-GTP	4~4.6 U/l	アルコール・脂肪などの過剰摂取で高くなる
	ALP	115~359 U/l	胆道系の閉塞や狭窄で上昇する
	AMY	33~120 U/l	アミラーゼ 膵臓が炎症を起こすと高くなる
腎機能	UN	8~2.0 mg/dl	尿素窒素 腎臓の機能を示し、障害があると高くなる
	CRE	0.36~1.06 mg/dl	クレアチニン 腎臓の排出機能障害があると高くなる
電解質	Na	138~146 mmol/l	ナトリウム 体内の水分量のバランスを反映する
	K	3.6~4.9 mmol/l	カリウム 体内の水分量のバランスを反映する
	CL	99~109 mmol/l	クロール 体内の水分量のバランスを反映する
	Mg	1.9~2.5 mg/dl	マグネシウム 体内の水分量のバランスを反映する
その他	TP	6.6~8.7 g/dl	総タンパク 栄養状態を表す
	CRP	0.3 mg/dl 以下	炎症がある時や組織が破壊されたときに高くなる